

「 大野活性化プロジェクト 」

学校名

岩手県立大野高等学校

1 目的

地元岩手を大切にできる心を育成し、魅力ある岩手の未来について考察し、地域の将来を担う人材として豊かな資質を養う。

2 研究テーマ「大野活性化プロジェクト」

地元大野を大切にできる心と魅力ある大野の未来について考察する。3つのサブテーマと6つの調査項目に細分化し、プロジェクトの企画立案をする。

(1) 大野の人口を増やして活性化する

①若者定住化プロジェクト、②高齢者定住化プロジェクト

(2) 大野の観光客を増やして活性化する

③既存の施設利用で観光客増大プロジェクト、④観光資源新開発プロジェクト

(3) 大野の魅力を活かして活性化する

⑤既存の特産物新アピールプロジェクト、⑥新商品開発プロジェクト

3 主な活動

(1)ブレインストーミング

・大野の強みと弱みについて意見を出し合い、大野について考える。

(2) 計画書作成

・前時の意見をもとに、3つのサブテーマと6つの調査項目に細分化をする。
・研究の目的、問題点の把握、研究の予想、研究の内容について計画書を作成する。

(3) 被災地訪問

・大槌町を訪問(経費は県立学校復興担い手育成支援事業より支出)し、大槌町民の生活再建に寄与する事を目的に設立された「一般社団法人 おらが大槌夢広場」の方々から大槌町の復興について話を聞く。
・町づくりに関する事業、観光業・商工業・農水産業の発展、担い手の育成、外部への情報発信強化、地場産業やツーリズムの活性化、町民の起業独立支援等のガイダンスにおいて、自分達のプロジェクトの参考となるよう意見交換をする。

(4) 中間発表会

・文化祭にてステージ発表をする。(6班の中から1班を選考)

(5) データ収集

・大野小学校児童、大野中学校生徒、本校生徒、本校保護者を対象にアンケートを実施する。

(6) 提言書作成

・大野に住む方々の意見(アンケート結果)から実情を把握する。
・高校生の目線で実現可能な解決策を提言する。

(7) 校内発表会(2月実施予定)

